

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 鶴巻地区

平成24年11月18日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
1	<p>鶴巻温泉駅前広場の整備計画の進捗状況を説明してください。立体横断施設ができると聞いていますが、どのような形で駅に繋がるのでしょうか。</p> <p>また、駅広の整備に合わせ、駅連絡所や集会所のようなものがないかという要望もあります。</p>	<p>鶴巻温泉駅南口広場の整備については平成22年度に事業認可を取得し、27年度を完成年度とお伝えしてあります。この事業の内容については、広場のみの整備となっております。まちづくりとしては一部不十分な状態でありました。現在は広場周辺ということで土地区画整理の手法で取り組むこととし、関係権利者全員から同意を収集しています。これが完了しましたら事業認可を取得し、県が行う県道の歩道拡幅事業と調整を図りながら進めていきたいと考えます。また、立体横断施設については、伊勢原15号踏切が時間により30分くらい遮断機が下りている状態があること、朝夕の乱横断が見られ危険であることから、県道を立体的に横断し上にあがったまま下に降りずにそのまま鶴巻温泉駅の南口に繋がるような形を小田急電鉄と協議しています。これらの事業を関係者の協力のもとリンクさせて一体的に進めていく必要があるため、駅広のみの整備を想定していた当初計画の27年度完成よりは数年延びることになると考えます。</p> <p>駅連絡所や集会所については駅と周辺整備の完成形が見えてきたことから設置の必要性等について庁内で検討をおこなって進めたいと考えます。</p>	<p>土地区画整理事業については、関係権利者全員からの同意を得たことにより、平成25年1月に事業認可を受けました。このことにより、広場周辺の計画的なまちづくりを誘導しています。</p> <p>また、平成24年12月には、本市と小田急電鉄との間で、立体横断施設の整備項目などの基本事項を定めた基本協定を締結したことにより、立体横断施設や駅施設などの整備を両者が協力して進めていきます。</p> <hr/> <p>(駅連絡所について) 当日の回答に同じ</p>	<p>まちづくり推進課</p> <hr/> <p>戸籍住民課</p>
2	<p>県道612号の延命地蔵尊からおおね公園までの間、また県道613号延命地蔵尊からサンライフ、特にミアクチーナの前の辺りが危険です。歩道整備について、現状はどのようになっていますか。</p>	<p>県道612号については延命地蔵尊から伊勢原15号踏切まで歩道整備ということで、来年度最終的に用地買収ができれば、と交渉を進めております。平成26年度に工事着手して歩道拡幅整備を終わらせたいという希望を持っている、ということです。</p> <p>市としてはその工事終了後はぜひともおおね公園までの間の整備をして欲しいと要望をしているところです。</p> <p>県道613号の延命地蔵尊からサンライフ入口間については更にその後、県道612号の歩道整備が事業化された後整備要望をしたいと考えています。歩道整備の必要性は認識していますが、県も財政が逼迫しておりますので一度に多路線を行うことが非常に困難です。ご理解ください。</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>国県事業推進課</p>

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 鶴巻地区

平成24年11月18日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
3	<p>県道整備に伴い下水道工事や電線地中化工事が行われるようですが、周辺住民の日常生活や歩行者への影響はないのでしょうか。</p>	<p>県道612号の延命地藏尊から踏切までの間を無電柱化ということで、拡幅した歩道に埋設物を取り込む計画です。工事中は当然近隣の方、歩行者の方にご迷惑をおかけする部分もありますが、ご協力をお願いします。</p> <hr/> <p>下水道工事については、先行して行いますが、夜間施工を中心に、モグラのように管を推進する工法で行いますので、できるだけ日常生活に影響が出ないように工事を進めてまいります。ご協力をお願いします。</p>	<p>当日の回答に同じ</p> <hr/> <p>当日の回答に同じ</p>	<p>国県事業推進課</p> <hr/> <p>下水道河川整備課</p>
4	<p>鶴巻温泉街活性化について検討部会で報告書が出されてから進展が見られません。北口の温泉街の整備も含め、進捗状況はどのようになっていますか。</p>	<p>昨年地元関係者の皆様で構成する「鶴巻温泉源泉活用検討会」において、源泉活用に関する具体的な取り組みを検討した結果について報告を受けました。また、弘法の里湯のリニューアルオープンの検証結果と合わせ様々な手法で市民の皆様のニーズを探ってまいりました。その上で、ニーズが高い温泉施設として、「足湯」があげられており、そのシンボル性、回遊性に着目し早い時期の整備に向けて検討しています。設置場所の問題や効果的な加熱の手法等を整理し、施設設計を始めとする諸手続きなどが必要ですので、順次取り組んでまいります。</p> <p>北口と合わせた温泉街の整備についてはハードな施設整備ということだけではなく来客を回遊させる取り組みとして、古くから地域にある複数の観光資源を結んだ町歩きコースを設定することで温泉街周辺の賑わいづくりに貢献するものと考えています。これは南口周辺のゾーンも取り込みが可能であり、このようなソフト的な施策を協議するため、鶴巻温泉源泉活用検討会の下部組織として観光資源活用部会を設置したところです。今後この部会の協議内容についても鶴巻温泉ニュースなどを通じて地域の皆様にお知らせしていきたいと考えます。</p>	<p>鶴巻温泉源泉活用検討会から報告いただいた新源泉「つるまき千の湯」を活用した鶴巻温泉街の再活性化を推進するため、平成25年3月議会で秦野市温泉供給条例を上程し、可決を得て、新源泉を旅館等へ配湯する手続きを整えました。また、ソフト面での鶴巻温泉街の賑わいづくりを具現化するため、鶴巻温泉源泉活用検討会の下部組織で「観光資源活用部会」の協議を進め、まち歩きコースの設定などに取り組みます。</p>	<p>商工観光課</p>

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 鶴巻地区

平成24年11月18日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
5	<p>廃止後の鶴巻排水機場を観光拠点として利用できないかと考えています。また、真田橋からポンプ場までの間の大根川沿いについて遊歩道として散策できる環境づくりを進めたいと考えています。協力をお願いします。</p>	<p>鶴巻排水機場が大根川ポンプ場の完成に伴いその役割を終えることとなりました。この後の活用については今後庁内での調整の上、利活用を検討していくこととなりますので、お時間をいただきたいと考えます。また、散策路整備については、地域の観光資源として、観光資源検討部会の中でもテーマとして考えておりますので、ソフト面の取り組みとして検討をしていくこととなります。</p>	<p>(排水機場について) 当日の回答に同じ</p> <hr/> <p>(散策路について) 大根川や善波川周辺は地域力絵あじさい散歩道や桜の植樹などにより、遊歩道として整備されていますが、こうした取り組みの拡大について、観光資源活用部会の中で検討します。</p>	<p>森林づくり課</p> <hr/> <p>商工観光課</p>
6	<p>7月14日未明の大雨で中継ポンプ場が停止する事態が起りましたが、原因と再発防止策について説明してください。</p>	<p>事故発生後、調査委員会を設置し原因究明と再発防止について調査検証を行いました。原因については通常をはるかに超える流入水があります。これは雨水施設から污水管への誤接続、マンホールや污水ますの蓋穴、排水設備や污水管の破損、取り付け管の接続箇所などから污水管への浸入水が増加したものと認められます。この浸入水は一般的には不明水と呼ばれますが、災害発生時には1.5倍以上の多量なものとなりました。そのため予備ポンプ1台を含めた4台全てのポンプ能力をはるかに超える水量の急増により地下2階の電気系統が故障し施設が停止し、流入水を伊勢原終末処理場へ送ることができませんでした。</p> <p>再発防止としては、雨水流入対策として、不明水の流入対策が必要となります。合わせて中継ポンプ場の施設機能の強化として、主流入ゲートの改良、施設の構造改善、また維持管理体制の強化として短期、中長期的に取り組むものがあり、対応できることから順次実施を行います。</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>下水道施設課</p>

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
7	<p>大根川のポンプ場が完成したことで7月14日未明の大雨時の浸水のような被害を防ぐことはできるのでしょうか。</p>	<p>大根川ポンプ場は従来の鶴巻排水機場と比較し、約3倍の排水能力があります。完成により鶴巻地区の浸水エリアの大部分は解消できるものと考えますが、ポンプ場の能力は1時間当たり50ミリの大雨を想定しており、7月14日のような67ミリでの大雨の検証はできておりません。しかし7月13日にも道路冠水が起こる雨がありましたが、その時と同程度の大雨があった9月2日には、小型2台と大型1台のポンプの運転により、道路冠水は見られませんでした。このように道路冠水が減少することは大雨時に中継ポンプ場への浸入水を減少させる効果があります。しかし、大根川ポンプ場への流入エリア外には、雨水整備が必要な地域がありますので、現状では中継ポンプ場の施設管理強化として、気象情報もあわせ、維持管理体制の充実を図り、再発防止に努めます。</p>	<p>大根川ポンプ場は計画通りの能力を備えることができましたが、ポンプ場に接続する雨水幹線、主要な枝線については、計画通りに整備が完了した区間と暫定的な整備により一定の能力を発揮している区間があります。</p> <p>大根、鶴巻地区の浸水地域は平坦な台地で、管きよや水路の排水勾配が十分に確保できない側面があり、また、県立自然公園に指定されている背後の山々から市街地までは比較的急勾配で距離も短く降雨時の流出水が短時間で市街地へ到達します。このように短時間の出水を平坦な低地の市街地で受けることについては、大根川のポンプ場の稼働により、全ての問題や課題が解決するものではなく、多様な課題が残っています。</p> <p>しかし、大根川ポンプ場は旧来の約3倍の排水能力を有しており、今後、下水道計画に沿って未整備である枝線を整備し、幹線と有機的に接続することでより一層の能力を発揮できると考えています。</p> <p>従前から申し上げていますように、今後は、大根川ポンプ場の稼働効果を検証しながら必要となる管きよの整備を進めていきます。</p>	<p>下水道河川整備課・下水道施設課</p>
8	<p>ポンプ場ができたということですが、それにより、これまでよく水がでていた箇所が安心なのかなどを、インターネット等を通じ情報の共有ができればと考えます。</p>	<p>(要望)</p>	<p>大根川ポンプ場の稼働により、全ての問題や課題を解決したとは考えておりませんので、今後はポンプ場の稼働効果を検証しながら必要となる管きよ等の整備を進めていきます。その中で稼働効果の検証などにより、情報提供できるものがあれば、インターネット等を通じて提供したいと考えております。</p> <p>なお、河川・水路の推移情報をイントラ等により、市民の皆様へ情報提供することについて、今後の課題として研究したいと考えております。</p>	<p>防災課・下水道河川整備課・下水道施設課</p>

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 鶴巻地区

平成24年11月18日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
9	サンライフ鶴巻は廃止ということを知っていますが、非常に使い勝手の良い施設だと思いますので、必要だと考えています。市としての考えを伺いたいと思います。	公共施設再配置計画では、今後40年をかけて現在の公共施設の床面積を3分の1減らす計画です。サンライフ鶴巻も後期実行プランの中で廃止を予定しています。建物自体は十分耐用年数がありますので、社会福祉法人等への譲渡なども考えておりますが、具体的な内容については後期実行プランの中で説明させていただきます。将来的には各地域の小学校や中学校を地域の核として考えています。これまでと同じような施設利用ではない部分もでてきますが、将来の子どもたち、孫たちに対し良好な状態で必要な施設を残せるようにご理解をお願いします。	当日の回答に同じ	公共施設再配置推進課
10	鶴巻こども園ができたことで、鶴巻保育園が廃止になりました。廃止後跡地はどのように利用されるのでしょうか。	現在解体が終わり土地を神奈川県に返却しております。県に確認したところ、当面は県営鶴巻団地の壁補修工事の資材置き場として利用することです。その後は未確定ということですが、財政事情等もあり売却や駐車場としての貸し出しも検討中とのことです。	当日の回答に同じ	企画課
11	おおね公園の駐車場が狭いので、広くすることはできないでしょうか。	現在、道路側に駐車スペースを確保するとともに、大型車の駐車スペースに区画線を入れ、駐車可能台数を当初設定よりも増やしております。公園の立地上、駐車場を拡げることは大変困難ですので、できるだけ利用者の方は乗り合い等をしていただきますようご理解とご協力をお願いします。	当日の回答に同じ	公園課

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 鶴巻地区

平成24年11月18日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
12	<p>鶴巻地区では今回社協の拠点ことができましたが、地域の活動はまちづくり委員会や自治会連合会など多くの団体に関与し、活動は切っても切り離せない関係にあります。地域の活動拠点作りに対して、前向きな対応をお願いします。</p>	<p>(要望)</p>	<p>活動拠点づくりについては、各地区それぞれのご意見・ご要望を確認しながら、また、まちづくりについて横断的に関わっている各課等と調整をとりながら検討をまいります。</p>	<p>市民自治 振興課</p>